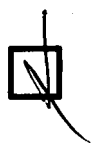


IDS REFERENCES



FOR

NOISE-PROOF COVER FOR LOW-NOISE TYPE ROTATING ELECTRIC MACHINE

Publication number: JP5219683

Publication date: 1993-08-27

Inventor: UJIMA SHOICHI

Applicant: FUJI ELECTRIC CO LTD

Classification:

- international: H02K5/22; H02K5/24; H02K5/22; H02K5/24; (IPC1-7):
H02K5/22; H02K5/24

- European:

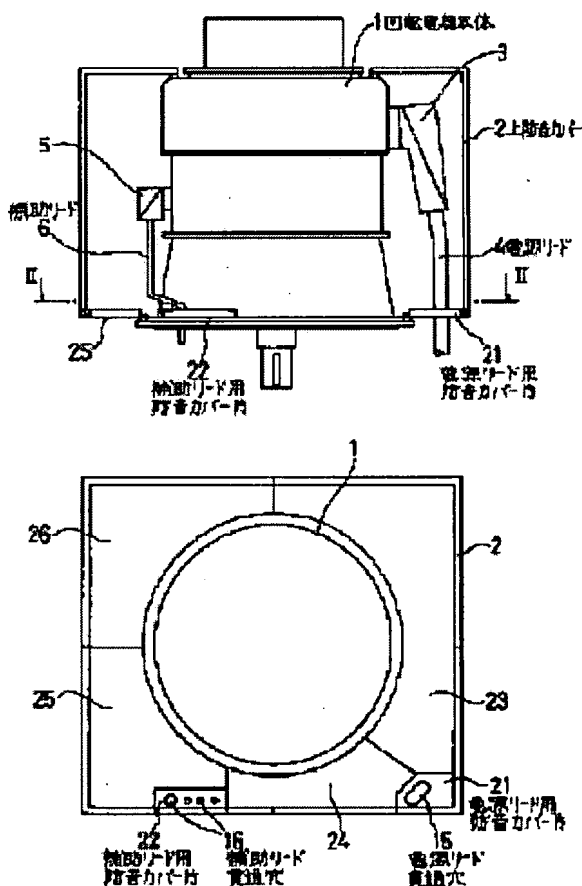
Application number: JP19920056237 19920206

Priority number(s): JP19920056237 19920206

Report a data error here

Abstract of JP5219683

PURPOSE: To disassemble a noise-proof cover without disassembling a power source lead and an auxiliary lead at disassembly of the noise-proof cover of a low-noise rotating electric machine. **CONSTITUTION:** An upper noise-proof cover 2 and lower noise-proof covers 23, 24, 25, and 26 can be disassembled without disassembling a power source lead 4 or an auxiliary lead 6 by making said power source lead 4 and auxiliary lead 6 pierce the body, covering the section where the power source lead 4 or the auxiliary lead 6 pass the bottom of the body of a rotating electric machine and its vicinity, and providing the noise-proof cover pieces 21 and 22, which are constituted severally freely of disassembly and assembly to other noise-proof covers 23, 24, 25 and 26, and separating the noise-proof cover pieces 21 and 22 at disassembly of the noise-proof covers.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-219683

(43)公開日 平成5年(1993)8月27日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 2 K	5/24	Z 7254-5H		
	5/22	7254-5H		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-56237

(22)出願日 平成4年(1992)2月6日

(71)出願人 000005234

富士電機株式会社

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

(72)発明者 鶴島 章一

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

富士電機株式会社内

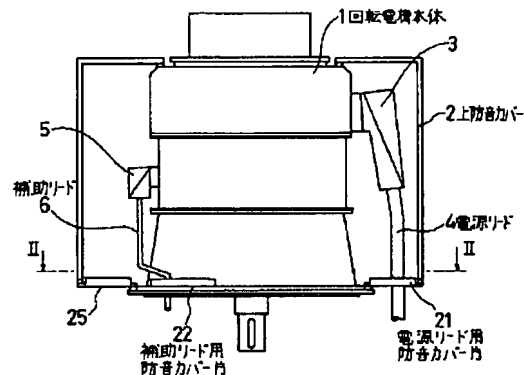
(74)代理人 弁理士 駒田 喜英

(54)【発明の名称】 低騒音形回転電機の防音カバー

(57)【要約】

【目的】低騒音形回転電機の防音カバーの分解時に、電源リード及び補助リードを分解することなく、防音カバーを分解する。

【構成】電源リード4または補助リード6が回転電機本体1の底部を通過する付近を覆って電源リード4または補助リード6を貫通させ、他の下防音カバー23、24、25、26に対しそれぞれ分離、組立自在に構成された防音カバー片21、22を設け、防音カバーの分解時には、防音カバー片21、22を分離することにより、電源リード4または補助リード6を分解することなく、上防音カバー2及び下防音カバー23、24、25、26を分解できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 回転電機本体を覆う上防音カバーと、前記回転電機本体の底部を覆い、かつ電源リード及び補助リードをそれぞれ貫通させる下防音カバーとを備えた低騒音形回転電機の防音カバーにおいて、前記電源リードまたは補助リードが前記回転電機本体の底部を通過する付近を覆って前記電源リードまたは補助リードを貫通させ、他の下防音カバーに対しそれぞれ分離、組立可能に構成された防音カバー片を設けたことを特徴とする低騒音形回転電機の防音カバー。

【請求項2】 請求項1記載の低騒音形回転電機の防音カバーにおいて、電源リード用防音カバー片は、多角形をなして下防音カバーの隅に配置され、他の隣接する下防音カバーに対しボルトを介して分離、組立自在に構成されることを特徴とする低騒音形回転電機の防音カバー。

【請求項3】 請求項1記載の低騒音形回転電機の防音カバーにおいて、補助リード用防音カバー片は、多角形をなして下防音カバーの少なくとも一辺に配置され、他の隣接する下防音カバーに対しボルトを介して分離、組立自在に構成されることを特徴とする低騒音形回転電機の防音カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、低騒音形回転電機本体を覆う防音カバーに関する。

【0002】

【従来の技術】 図3は従来の防音カバーを備えた低騒音形回転電機の構成図、図4は図3のIV-IV断面図である。図において、回転電機本体1は上防音カバー2で覆われ、回転電機本体1の底部は、主端子箱3から引き出された電源リード4を貫通させる下防音カバー12と、補助端子箱5から引き出される補助リード6を貫通させる下防音カバー13と、他の下防音カバー11、14とから覆われている。下防音カバー11、12、13、14は上防音カバー2とボルトにより結合されている。補助リード6は、巻線の温度測定用センサまたは軸受の振動計などの制御用配線である。図4において、下防音カバーは、4個の板から構成され、下防音カバー12は電源リード4を貫通させる電源リード貫通穴15を備え、下防音カバー13は補助リード5を貫通させる補助リード貫通穴16を備えている。

【0003】 防音カバーの組立に際しては、主端子箱3及び補助端子箱5を取り付けた状態で回転電機本体1を組み立てた後、回転電機本体1を所定の位置に据え付ける。次に、下防音カバー11、12、13、14を回転電機本体1に取り付け、この状態で電源リード4または補助リード6をそれぞれ主端子箱3または補助端子箱5に接続し、最後に上防音カバー3により回転電機本体1を覆って、上防音カバー2と下防音カバー11、12、13、14とをボルトで結合する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従来の構造では、上防音カバー2及び下防音カバー11、12、13、14を分解するときは、上防音カバー2をはずした後、下防音カバー11、12、13、14を分解する前に、電源リード4及び補助リード6を分解する必要がある、これらのリードは電線を絶縁してコンジットに結めているため、絶縁の除去等がかなり面倒で、作業に時間がかかるという欠点があった。

10 【0005】 この発明は、低騒音形回転電機の防音カバーの分解時に、電源リード及び補助リードを分解することなく、防音カバーを分解できるようにした防音カバーを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 回転電機本体を覆う上防音カバーと、前記回転電機本体の底部を覆い、かつ電源リード及び補助リードをそれぞれ貫通させる下防音カバーとを備えた低騒音形回転電機の防音カバーにおいて、前記電源リードまたは補助リードが前記回転電機本体の底部を通過する付近を覆って前記電源リードまたは補助リードを貫通させ、他の下防音カバーに対しそれぞれ分離、組立可能に構成された防音カバー片を設けたことにより、上記目的を達成する。

【0007】 なお、電源リード用防音カバー片は、多角形をなし、下防音カバーの隅に配置され、隣接する下防音カバーに対しボルトを介して取り付け取り外し自在に構成すれば、防音カバーの分解時には、電源リードを分解することなく防音カバーを分解する上に好適である。

30 【0008】 さらに、補助リード用防音カバー片は、多角形をなし、下防音カバーの少なくとも一辺に配置され、隣接する下防音カバーに対しボルトを介して取り付け取り外し自在に構成すれば、防音カバーの分解時には、電源リードを分解することなく防音カバーを分解する上に好適である。

【0009】

【作用】 この発明においては、電源リードまたは補助リードが回転電機本体の底部を通過する付近を覆って電源リードまたは補助リードを貫通させ、他の下防音カバーに対しそれぞれ分離、組立可能に構成された防音カバー片を設けたことにより、防音カバーの分解時には、防音カバー片を他の下防音カバーから分離することにより、電源リードまたは補助リードを分解することなく、防音カバー片に貫通させたまま上防音カバー及び下防音カバーを分解することができる。

【0010】

50 【実施例】 図1はこの発明に実施例による防音カバーを備えた低騒音回転電機の構成図、図2は図1のII-II断面図である。図において、図3、図4と同じ部位は同じ符号を付してある。図において、回転電機本体1は上防音カバー2で覆われている。この発明においては、主端

3

子箱3から引き出された電源リード4が回転電機本体1の底部を通過する付近を覆って電源リード4を貫通させ、他の下防音カバー23、24と分離、組立自在な電源リード用防音カバー片21を設けた。電源リード用防音カバー片21は、多角形をなし、下防音カバーの隅に配置され他の隣接する下防音カバー23、24とボルトを介して分離、組立自在に構成されている。電源リード用防音カバー片21は電源リード貫通穴15を備える。

【0011】また、この発明においては、補助端子箱5から引き出された補助リード6が回転電機本体1の底部を貫通する付近を覆って補助リード6を貫通させ、他の下防音カバー24、25に対し分離、組立自在な補助リード用防音カバー片22を設けた。補助リード用防音カバー片22は四角形をなし、下防音カバーの一辺に配置され、他の隣接する下防音カバー24、25に対しボルトを介して分離、組立自在に構成されている。補助リード用防音カバー片22には、補助リード貫通穴16を備える。

【0012】防音カバーを分解するときには、まず上防音カバー2を外すと、下防音カバーが平面的に組立られた状態で現れる。次いで、電源リード用防音カバー片21及び補助リード用防音カバー片22を他の防音カバー23、24、25と結合するボルトをゆるめて、これらの防音カバー片21、22を他の下防音カバーから分離し、電源リード4または補助リード6を防音カバー片21、22に取りつけたまま、他の下防音カバー23、24、25を分解する。図は下防音カバーの一例を示したもので、回転電機の大きさにより、下防音カバーの分割個数を増減する。

【0013】

【発明の効果】この発明においては、下防音カバーから

4

分離可能な電源リード用防音カバー片または補助リード用防音カバー片を設け、防音カバーの分解時には、電源リードまたは補助リードを電源リード用防音カバー片または補助リード用防音カバー片に取り付けたまま、これらの防音カバー片を他の下防音カバーから分離させるので、電源リードまたは補助リードを分解することなく上防音カバー及び下防音カバーを分解することができる。そのため、この発明によれば、防音カバーの分解作業時間を短縮することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例による防音カバーを備えた低騒音形回転電機の構成図である。

【図2】図1のII-II断面図である。

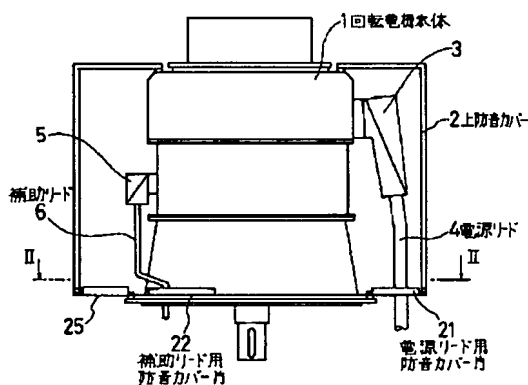
【図3】従来の防音カバーを備えた低騒音形回転電機の構成図である。

【図4】図3のIV-IV断面図である。

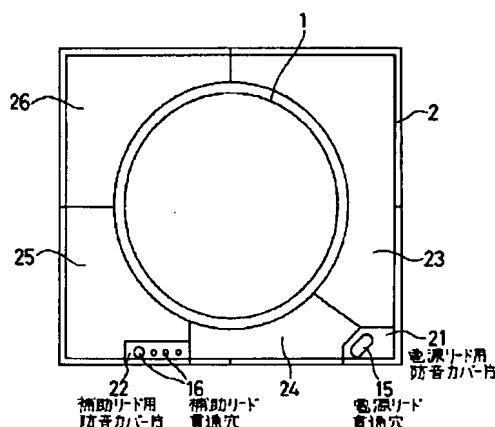
【符号の説明】

- | | |
|----|--------------|
| 1 | 回転電機本体 |
| 2 | 上防音カバー |
| 3 | 主端子箱 |
| 4 | 電源リード |
| 5 | 補助リード箱 |
| 6 | 補助リード |
| 15 | 電源リード貫通穴 |
| 16 | 補助リード貫通穴 |
| 21 | 電源リード用防音カバー片 |
| 22 | 補助リード用防音カバー片 |
| 23 | 下防音カバー |
| 24 | 下防音カバー |
| 25 | 下防音カバー |
| 26 | 下防音カバー |

【図1】



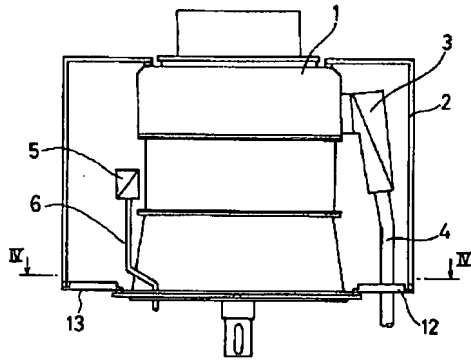
【図2】



(4)

特開平5-219683

【図3】



【図4】

